

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書



- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 いわき市立小名浜第二中学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生 311名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	東京オリンピック陸上200m日本代表の山下潤選手を講師として招き、これまでの経験に基づいた効果的な練習の取り組み方や、実際のオリンピックでの体験談や舞台裏などの話を聴くことでスポーツに関する興味・関心を高める。
5 取組内容	<p>【講演】 13:25~14:15</p> <p>演題 「今の中学生に伝えたいこと」</p> <p>講師 山下 潤 様 (福島市出身 東京オリンピック陸上200m 日本代表)</p> <p><内容></p> <p>(1) 陸上を始めたきっかけ</p> <p>(2) コロナ禍での練習の取り組み方</p> <p>(3) 東京五輪出場までの流れ</p> <p>(4) 東京五輪の様子(宿舍、競技場など)</p> <p>(5) 意識して取り組んでいること</p>



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講話を聴くことによって、トップアスリートの考え方や生活についての理解を深めることができた。  <ul style="list-style-type: none"> ○ 実際にオリンピックでの体験や競技場・宿舍などの舞台裏の話を聴いたり、画像を見せてもらったりすることで生徒たちの興味・関心の高まりが見られた。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 福島県出身の選手を招いたことで、福島県に対して誇りをもつことができたと感じる。  <ul style="list-style-type: none"> ○ 全校生徒で行うことで、学校全体でオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める雰囲気づくりができた。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒たちにオリンピックへの興味・関心を高めるために実際の体験談や画像をふまえた内容にした。 ○ オリンピック・パラリンピック教育として、福島県出身選手に関して個人での調べ活動を行った。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時間と場所に余裕があれば、全校生徒に実際のトレーニングや走り方などの実技を取り入れることができればさらに生徒の興味・関心は高まったと感じる。 ○ 今後は保健体育科だけでなく、他の教科においても横断的に指導ができるとさらにオリンピック・パラリンピックに関して生徒の興味・関心が高まると感じる。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京オリンピック・パラリンピックは終了してしまいましたが、冬季オリンピック・パラリンピックや各競技における国際大会などは引き続き行われるので、継続的に福島県にゆかりのある選手などを応援したり、競技を実際に行ってみたりして、スポーツに関する興味・関心は高めていければと思う。